

SS-LAN-RLSW

ライブラリ関数
リファレンス

Ver.1.00

2016/12/19

システムサコム工業株式会社

SSLANRLSW_open

デバイスにtelnet接続を行います。

```
int SSLANRLSW_open(  
    char *ip,  
    unsigned short port  
);
```

パラメータ

ip
接続先IPアドレス文字列(NULL終端)
[例] "192.168.0.100"
port
接続先ポート番号
10001を設定して下さい。

戻り値

RET_OK	0	正常終了しました。
RET_ERR_SOCKET	-1	ソケットの生成に失敗しました。
RET_ERR_CONNECT	-2	接続に失敗しました。

解説

デバイスにtelnet接続し、コマンド通信が使用できる状態にします。
プログラムの開始時にコールして下さい。

SSLANRLSW_close

デバイスとのtelnet接続を切断します。

```
void SSLANRLSW_close(void);
```

パラメータ

なし

戻り値

なし

解説

デバイスとのtelnet接続を切断します。
プログラムの終了時にコールして下さい。

SSLANRLSW_read_output_data

デバイスのリレー出力状態をリードバックします。

```
int SSLANRLSW_read_output_data(  
                                char id,  
                                int *data  
);
```

パラメータ

id

ユニット番号

data

出力データ格納用バッファ

戻り値

RET_OK	0	正常終了しました。
RET_ERR_SEND	-3	送信に失敗しました。
RET_ERR_READ	-4	受信に失敗しました。
RET_ERR_TIMEOUT	-5	応答がありません。3秒
RET_ERR_NO_DELIMITER	-6	応答にデリミタがありません。
RET_ERR_RCV_FORMAT	-11	応答のフォーマットが異常です。

解説

コマンド(read out data)を実装したものです。

デバイスのリレー出力状態をリードバックし取得します。各ビットは0がリレーOFFの状態、1がリレーONの状態を表しています。ビットとCHの対応はデバイスのソフトウェアマニュアルを参照して下さい。

SSLANRLSW_write_flash_memory

ユニットのタイトル文字列をフラッシュメモリに書き込みます。

```
int SSLANRLSW_write_flash_memory(  
    char id  
);
```

パラメータ

id
ユニット番号

戻り値

RET_OK	0	正常終了しました。
RET_ERR_SEND	-3	送信に失敗しました。
RET_ERR_READ	-4	受信に失敗しました。
RET_ERR_TIMEOUT	-5	応答がありません。3秒
RET_ERR_NO_DELIMITER	-6	応答にデリミタがありません。

解説

コマンド(write flash memory)を実装したものです。
現在接続されているデバイス内に保存可能な情報をフラッシュメモリに書き込みます。保存される内容はユニットのタイトル文字列です。

SSLANRLSW_get_title_string

フラッシュメモリに書き込まれたユニットのタイトル文字列を取得します。

```
int SSLANRLSW_get_title_string(  
                                char id,  
                                char *title  
);
```

パラメータ

id
 ユニット番号

title
 タイトル文字列取得取得用バッファ
 最低64バイト分確保して下さい。
 NULL終端文字列が書き込まれます。

戻り値

0以上		取得タイトル文字列バイト長(NULL含む)
RET_ERR_SEND	-3	送信に失敗しました。
RET_ERR_READ	-4	受信に失敗しました。
RET_ERR_TIMEOUT	-5	応答がありません。3秒
RET_ERR_NO_DELIMITER	-6	応答にデリミタがありません。

解説

コマンド(get title string)を実装したものです。
デバイス内フラッシュメモリに書き込まれたユニットのタイトル文字列を取得します。

SSLANRLSW_get_version_number

デバイスのファームウェアのバージョンを取得します。

```
int SSLANRLSW_get_version_number(  
    char id,  
    char *version,  
    int length  
);
```

パラメータ

id

ユニット番号

version

バージョン文字列格納用バッファ

NULL設定時はバージョン文字列のバイト長のみ返します。

(バッファのコピーは行いません)

NULL終端文字列が書き込まれます。

length

バージョン文字列格納用バッファのバイト数

0設定時はバージョン文字列のバイト長のみ返します。

(バッファのコピーは行いません)

戻り値

0以上

取得バージョン文字列バイト長(NULL含む)

RET_ERR_SEND

-3

送信に失敗しました。

RET_ERR_READ

-4

受信に失敗しました。

RET_ERR_TIMEOUT

-5

応答がありません。3秒

RET_ERR_NO_DELIMITER

-6

応答にデリミタがありません。

解説

コマンド(get version number)を実装したものです。

デバイスROMに書き込まれたファームウェアのバージョン情報文字列を取得します。機種名、バージョン番号、ファームウェアをビルドした日時などが記録されています。

このバージョン文字列は不定長であるため最初にどれだけバッファのサイズを確保しなければならないか不明です。そこで最初にパラメータのlengthに0を設定してコールします。戻り値で得られたバージョン文字列バイト長分バッファを確保して再度コールして下さい。

SSLANRLSW_output_data

リレーに対してデータを出力します。

```
int SSLANRLSW_output_data(  
                                char id,  
                                int data  
);
```

パラメータ

id
 ユニット番号
data
 出力データ

戻り値

RET_OK	0	正常に終了しました。
RET_ERR_SEND	-3	送信に失敗しました。
RET_ERR_READ	-4	受信に失敗しました。
RET_ERR_TIMEOUT	-5	応答がありません。3秒
RET_ERR_NO_DELIMITER	-6	応答にデリミタがありません。

解説

コマンド(output data)を実装したものです。

デバイスのリレーに対してデータを出力します。各ビットは0がリレーOFFの状態、1がリレーONの状態を表しています。ビットとCHの対応はデバイスのソフトウェアマニュアルを参照して下さい。

SSLANRLSW_set_title_string

フラッシュメモリにタイトル文字列を書き込みます。

```
int SSLANRLSW_set_title_string(  
                                char id,  
                                char *title,  
                                int length  
);
```

パラメータ

id
 ユニット番号
title
 設定するタイトル文字列が格納されているバッファ
length
 設定タイトル文字列バイト長(1以上,63以内)

戻り値

RET_OK	0	正常に終了しました。
RET_ERR_SEND	-3	送信に失敗しました。
RET_ERR_READ	-4	受信に失敗しました。
RET_ERR_TIMEOUT	-5	応答がありません。3秒
RET_ERR_NO_DELIMITER	-6	応答にデリミタがありません。
RET_ERR_PARAMETER	-10	設定パラメータに誤りがあります。

解説

コマンド(set title string)を実装したものです。
デバイス内フラッシュメモリにタイトル文字列を書き込みます。